

# 11月



2023年

# みやま

第306号

病院理念

『患者さまの不安をとること』

当院の基本方針

「地域に根ざした安心できる医療」

「精神科医療の充実」

「老人医療」医療と福祉の結合

医療法人社団光生会 平川病院

〔ホームページ〕 <http://www.hirakawa.or.jp/>



東京精神科病院協会学会 会場 京王プラザホテル新宿にて（令和5年10月24日）

## 第35回東京精神科病院協会学会に参加してきました

院長 平川 淳一

東京精神科病院協会は都内63の民間精神科病院が加入する協会で、精神保健の向上のため、さまざまな事業を行っていますが、柱の1つが学会です。今年も10月24日火曜日に新宿の京王プラザホテルで開催されました。参加人数は800人を超え、ローカルな学会としては国内最大規模だと思います。通常の学会は医師中心だったり作業療法士だけだったり職種で学会をする場合が多いのですが、東精協学会は、医師、看護師、介護福祉士、ケアワーカー、薬剤師、作業療法士、精神保健福祉士、理学療法士、言語聴覚士、事務員、歯科医師、歯科衛生士など多職種で患者さんを診ていくという現在の精神科病院の日々の努力の成果を発表する学会です。今回は難治性精神疾患に対するクロザピンのことや、滝山病院等の事件に端を発した虐待防止の問題などに焦点を当てたプログラムでした。当院からも4人の発表がありました。他院からもいろいろな積極的な発表がありましたが、自分で言うのも恥ずかしい気もしますが、当院の発表はその中でもすばらしかったと思います。このようなスタッフに恵まれた当院は幸せだと思います。これを機にさらに発展してくれると思います。どうかご期待ください。

【表紙】院長あいさつ 【P2】デイケアにおける発達障害者支援について 【P3】精神障害にも対応した地域包括ケアシステム⑤ 【P4】病棟たより（東4病棟） 【P5】クリニカルインディケーターに見る医療の質とは 【P6・7】東京精神科病院協会学会参加レポート 【P8】摂食嚥下講演会のお知らせ

## デイケアにおける発達障害者支援について ー発達理解プログラムを通してー

地域生活支援室より

地域生活支援科 公認心理師 丹原 佳折

当院デイケアでは、発達障害のある方や特性をお持ちの方向けのプログラムとして、発達障害（ASD）専門プログラム、ADHD専門プログラム、発達理解プログラムの3種類のプログラムを行っています。今回は、その中の発達理解プログラムについてご紹介いたします。

このプログラムには、大きく2つの目的があります。1つは、名称の通り発達特性の理解を深めることを目的としています。2つめの目的は、同じような経験をしてきた人たちや似た特性をもつ人たちが仲間を作る機会をつくり、プログラムの活動自体が本人の居場所となることを目的としています。

プログラムでは、主にボードゲームやカードゲームなどを行い、自身の得意不得意や他者との関係性の中でどんな振る舞いをしがちななど、実践的な場で自ら学んでいただいています。さらに、今年度10月からは、参加メンバーとともにプログラム内容を話し合っ決めていく方針に変更し、プログラムを行っています。

参加メンバー自らがやりたい・興味のあることを取り入れていくことで、より主体的にそのプログラムへの参加を促すとともに、興味のあることや得意なことを通して、自分自身の良さへの気づきや自信を見出すことに繋げていただければと思っています。

発達障害をお持ちの方の中には、対人関係で辛い経験をしたという方が少なくありません。そこで重要なことは、発達障害だからうまくいかないのではなく、周りの人との信頼関係や安心感の築き方が人と違ったり、周りの人も本人の気持ちが理解しにくかったりすることによって、その経験が生じやすくなってしまおうということだと考えます。このようなことから、自己理解を深め、他者と関係を築いていく経験をすることで、今後の社会生活に活かしていただけるよう支援していきたいと考えています。

10月の予定	
10月4日	カードゲーム(犯人は躍る、ウミガメのスープ)
10月11日	障害理解
10月18日	好きなこと・もの紹介
10月25日	コミュニケーションゲーム・発達ミーティング



## 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム⑤

グループホーム美山ヒルズ 世話人 廣井 亮

八王子市で現在進めている「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」（以下、「にも包括」）では、前号でも書かせていただいたとおり、今ある体制を活かしつつ構築をすすめています。では、今八王子市では、どんな取り組みが行われているのでしょうか。

今回は、その一部を簡単にご紹介したいと思います。

### ① 早期訪問支援事業（保健対策課）

地域で生活している未治療・治療中断等の精神障害者及びその家族等に対し、早期に訪問支援を行う体制を構築し、必要な保健医療に結び付ける適切かつ円滑な支援を行い、本人家族および住民が安心して地域生活を送ることができる環境を整える。

### ② 地域生活支援拠点事業（障害者福祉課）

身体障害、知的障害、精神障害及びその他心身の障害がある者（以下「障害者」という。）の高齢化、重度化や「親亡き後」を見据え、既存の福祉制度や障害福祉サービスにはない様々な支援を切れ目なく提供し、障害者が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるようにすることを目的としています。

### ③ 重層的支援体制整備事業（福祉政策課）

既存の相談支援や地域づくり支援の取り組みを活かし、子ども・障害・高齢・生活困窮といった分野別の支援体制では対応しきれないような地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築するため、「属性を問わない相談支援」、「参加支援」、「地域づくりに向けた支援」を一体的に実施するものです。

これらは八王子市で行われている事業のほんの一部ではありますが、事業の対象や内容の違いがお分かりいただけるでしょうか。八王子市の「にも包括」構築の協議の場では、これらの事業が抱える課題を検討し、包括的に市民を支える体制を考えています。



## 東4病棟 外国人介護福祉士を紹介します

東4病棟 看護師長 真島 智

今回、東4病棟（男子慢性期療養病棟）に4月から入職した介護福祉士のオアインさんを紹介します。彼女は3年前にベトナムから日本にきました。日本の介護の専門学校に入学し今年介護福祉士の資格を取得しました。彼女に今回の原稿をお願いしたら、しっかり日本語で書いてきました。漢字、カタカナの使い方も出来ています。仕事に対して前向きで日々一生懸命頑張っています。

### 東4病棟 介護福祉士 ファン ティ キエウ オアイン

平川病院に勤めてから、あっというまに6カ月が経ちました。初日仕事が終わった時、迷子になったことを今でも覚えています。実は更衣室までの戻り方が分からなくて焦りました。ですが、その後熱心なスタッフが助けてくれました。やっとバスに乗れて良かったと思いました。勤務に入って新しい事ばかりだから職員に付いて見学させていただきました。それから患者様の名前を覚えられないといけないことでした。言葉の壁により仕事が更に難しくなると分かりました。ここで働いている先輩達がいっぱいいるし、みんな出来ているし、自分が頑張れない理由が一つもありませんと考えました。患者様の名前と顔を覚えるのは2週間かかりました。男性病棟なのに距離なく普通に話しました。人間として、誰でも幸せに生きるために自分のストーリーを他の人と共有したいと考えていました。しかしここは精神病院なので、話せること、話せないことがあります。仕事の流れを覚えてから基本に基づいて丁寧に仕事をしていきます。教えていただいたことをしっかり学んで、分からないことがあったら他の職員に聞いていました。それで不明な事が解決でき仕事も少しでもスムーズになりました。ただし自分に自信があまりなくて看護師に患者様の異常を報告するのが上手にできなかった。声をもうちょっと大きく話せば良いと思っていました。また何でも言いやすいように職員とのコミュニケーションを収めて良い関係を気づいていたほうが良いと理解しました。今後事故のないようにちゃんと仕事をしていきたいと思っています。

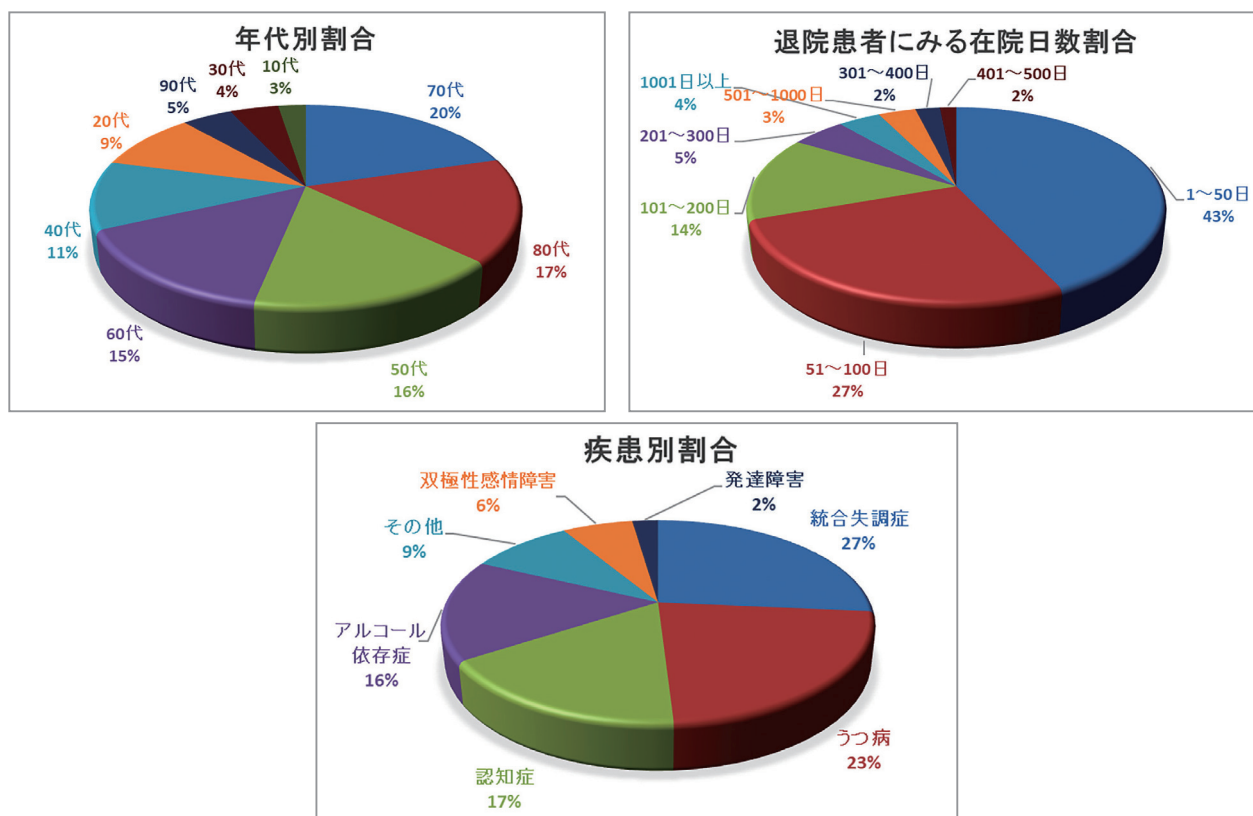


## クリニカルインディケータに見る医療の質とは

医療の質向上促進委員会 総務課 主任 本橋 伸介

クリニカルインディケータ（CI: Clinical Indicator）とは、医療におけるプロセスとアウトカム（結果）の指標を用いた質改善のためのツールです。クリニカル（Clinical）とは「臨床」インディケータ（Indicator）とは「指標」という意味であることから「臨床指標」とも呼ばれています。欧米では一般的に医療の質指標（クオリティインディケータ-QI: Quality Indicator）と呼ばれており、こちらも医療の質を定量的に評価するもので、医療の質を改善するためのツールです。

医療の質指標を公に開示することによって、医療機関としての情報開示による説明責任を果たす役割もあります。なお、注意が必要なのは、医療の質指標は医療機関の格付け等に用いるものではない点です。では、当院における統計の指標の一部（入院部門）を見てみましょう。



当院での統計資料（表①～③）について見てみると、年代別では70歳代が最も多く占めており、高齢者中心の入院になっていることが判ります。また、在院日数割合についても病棟により異なりますが、全体的に1～50日間の短期入院が多いことが判ります。また、疾患別では統合失調症が一番多く、うつ病、認知症と続いていることが判ります。

こういった統計データから当院の現状を把握することが可能ですが、これらは直接的に医療の質を測定できるものではありません。医療の究極的な目標は単に数値目標をクリアすることではなく、患者さんの人生の幸福度を高めることです。それこそが医療の質の本質であり、それを簡単に評価できる指標は存在しません。CIを多角的に解析し、どう活用すれば実際の医療の質の向上に繋げられるか、当委員会でも常に検討してまいります。

## 第35回 東京精神科病院協会学会参加レポート



10月24日、新宿京王プラザホテルにて、第35回東京精神科病院協会学会が開催されました。当院からは口演発表4演題を発表いたしました。

### 当日の様子



東精協会長として開会の挨拶をする平川院長



シンポジウムの様子



座長を務めた南2病棟 丸山主任



座長を務めた南3病棟 黒部主任



発表者と平川院長



## 発表者より一言

令和5年10月24日に東京精神科病院協会学会が開催され、発表者として参加させていただきました。都内の精神科病院から多数の発表があり、私は訪問看護で実施したフレイルチェックについて発表しました。質問にも自分なりの考えを述べることができ、何とか終わることができました。作業療法やデイケアの取り組みを中心に聴講しましたが、どの病院でも工夫を重ね、様々な治療理論をもとに取り組んでいることが分かりました。長期入院されている患者様を退院へとつなげた発表は、演者の方の熱意が伝わるとも熱い発表でした。今回は緊張しっぱなしでしたが、今後自分も熱い発表ができればいいな、と思いました。

地域生活支援科 作業療法士 犬井良子



リハビリテーション科  
作業療法士 鈴木淳一



この度、第35回東京精神科病院協会学会に参加し演題発表を行いました。私の発表は「アルコール依存症における日常生活動作低下に対する身体リハビリテーション実施結果の報告」という演題です。発表までの準備には、共同演者である院長先生や濱田科長および、教育委員長の渡部先生には、たくさんの時間を頂き、何度も至らぬ点の修正・加筆のご指導を頂戴しました。ありがとうございます。今回発表するにあたり、改めてアルコール依存症患者についての障害像の理解を深める機会となり、発表者の私自身が非常に多くの事を学ぶことができ、今後の臨床業務においても有意義な学びとなりました。また、発表するまでの準備や発表には苦労もありました。しかし、学会当日は、平川病院の事務職員方の運営や広報などを含め30名以上の職員が参加され、発表前には激励の言葉を、発表後には労いの言葉をかけて頂きました。今回、貴重な学会参加及び発表の機会を頂いたことに感謝申し上げます。

リハビリテーション科 理学療法士 風間広行



リハビリテーション科  
言語聴覚士 戸祭美生

## 第3回 摂食嚥下講演会のお知らせ

リハビリテーション科 主任 理学療法士 山中 裕司

令和5年12月24日（日）に第3回摂食嚥下講演会を開催致します。講師は前回に続き、国際医療福祉大学の石山寿子准教授（言語聴覚士）にご登壇頂き、「上手に飲み込むコツ」についてお話して頂きます。市民向けの講演会となっており、毎回たくさんの市民の皆様や医療関係者の方にご参加して頂いております。今回は、実技を交えて飲み込みのコツを学べる内容となっております。

事前のお申し込みは不要でどなたでも無料でご参加頂けます。どうぞお気軽にお越しください！

第3回

# 摂食嚥下 講演会

～口腔機能低下を防いで元気に生きよう～

講師

**石山 寿子先生**

国際医療福祉大学 准教授 言語聴覚士

会場

東京たま未来メッセ 第2会議場

令和5年12月24日（日） 10時～11時

参加費  
無料

どなたでもご参加いただけます  
ぜひ、ご参加ください



## 八王子市民のための発達障害支援 総合ポータルサイト

子どもから大人まで八王子市民が発達障害の支援サービス情報を  
包括的に取得できるサイトができました！

アクセスはこちらから



<http://hachioji-hattatsu.jp/>

### 編集後記

数年前に給与明細がスマホのアプリになり、今回のバージョンアップで四苦八苦？ 夏の旅行の際SAで高速道路の地図をもらおうとするとペーパーレス化ですとアプリの案内。駅のホームでは、ダイヤ改正で駅の時刻表を替えるのに経費が掛かるとスマホのQRコード、新聞屋がデジタル新聞を勧めるとか。時代の流れであるが、アナログにも良さを感じてしまう今日この頃である。

医療法人社団光生会 平川病院

東京都八王子市美山町1076

電話 042-651-3131

FAX 042-651-3133

編集 平川病院 広報委員会

ご意見ご感想はこちらへお願いします

kouhou@hhsp1966.jp

**HIRAKAWA  
HOSPITAL**

